



ひとりひとりの声を大切に ~2回目の教育相談週間を経て~

2回目のいじめアンケート調査(児童・保護者対象)の内容も含めて、子どもひとりひとりと担任がじっくり話す時間をとりました。いじめの認知件数は1学期より20件以上減りましたが、それでも40件で決して少なくありません。今後も子どもたちと一緒にいじめゼロをめざして生活していきます。

子どもたちには、いじめられないように友達に気を遣うのではなく、困ったことや悩みはきちんと周りの人に話すこと、自分がいじめる側にならないように自分と向き合うことを今後も伝え続けていきます。

その場の感情で暴言を吐いたり、暴力をふるったりしてしまう、気に入らないことがあると強い口調で責めたり、ばかにしたりしてしまう等、誰もがいじめる側になる可能性はあります。1学期に全校生がアンガーマネジメントについて学びましたが、2学期は5,6年生がSOSの出し方やストレスの解消法を学びました。とても有効な情報でしたので、お伝えします。

心の整え方 ~5,6年生が町の保健師の方に教わったこと~

◆ストレスとは…いやなこと(不快なこと)ではなく、脳(心)が疲れていることです。宿題をやりたくない、イライラして物を壊したくなる、友達にイライラしてしまう等は決して怠け者や短気ではなく、脳(心)が疲れているサインなのだそうです。

◆脳(心)を回復させる方法

①脳(心)を休ませることが大切！ 寝る、バランスの良い食事、散歩、スポーツなどでリフレッシュできることを行います。

②SOSを出す！ 例えば、紙風船は少しの凹みであれば優しく弾ませることで元に戻りますが、潰れてしまうと誰かに空気を入れてもらうしか元に戻る方法はありません。脳(心)も同じです。

☆SOSの出し方
・話しやすい人(信頼できる人)に、打ち明けましょう。
・もし、話を聞いてもらえなくとも、絶対にあきらめない。
・3人(3か所)に打ち明けましょう。



◆イライラした時にやってほしいこと

①6秒カウントする。 ②手をグーパーする。 ③その場から離れる。
④5秒かけて息を吸い、10秒かけて息を吐く。 ⑤笑顔をつくる。

クマから子どもたちを守る取り組みに感謝



クマ出没情報に伴い、おうちの方々には状況に応じて送迎をしていただき、ありがとうございました。現在、学校でも集団での下校と職員による巡回を続けています。また、町職員による登下校時の巡回のおかげもあり、毎日無事に登下校することができました。また、11月に行われた学校運営協議会では、登下校の安全を確保するにあたって危険個所のマップ化、デジタルマップ化、通学路の近所避難スポットや見守りサポーターの拡大等の意見が出されました。子どもたちの安全のために、できることから家庭や地域の皆さんとともに進めていければと思います。

11. 12月も「いろいろな学び」がありました



教育実習生の佐藤絵菜
さんが、三週間、三年一
組を中心に行なった
なかよく過ごしました。



五年生の「エコドライブ
教室」です。地球にやさし
い運転をドライバーに勧
めることを学びました。



四年生が、向町地区交
流会館で、地域の方々と
モルツクを一緒にやつて交
流を楽しみました。



高学年が、薬剤師の岡
野純一郎さんに薬物乱用
防止や喫煙防止について
教えていただきました。



フリー参観日には、多く
の方々が来校し、子ども
たちの学習の様子をじつ
くり観ていかれました。



なかよし班でおいしく
給食を食べたり、お題を
もとに会話を楽しんだり
して仲を深めました。



家での手伝いの様子を説明



実演しながらお互いに腕を磨く

1年生が生活科で「かぞくのえがおふやし
隊」としてお手伝いを極めています。家庭で
取り組み、学校で振り返る活動を繰り返し、
現在、お手伝いに意欲的です。他の学年も
1年生の時に学習したことなので、年末年始
休みに向小っ子は全員「家族の笑顔増やし
隊」としてお手伝いをしてほしいですね。



お世話になった方にプレゼント



アーチと拍手にお見送り

見守り隊の方をはじめお世話になった30
名の地域の皆さんを迎えて「ありがとうの集
い」をしました。児童代表のあいさつや、手
作りのカード・歌で感謝の気持ちを伝えま
した。代表して浅井真さんから「自分たちは皆
さんの応援団だ」という言葉をいただきました。
これからもどうぞよろしくお願ひします。